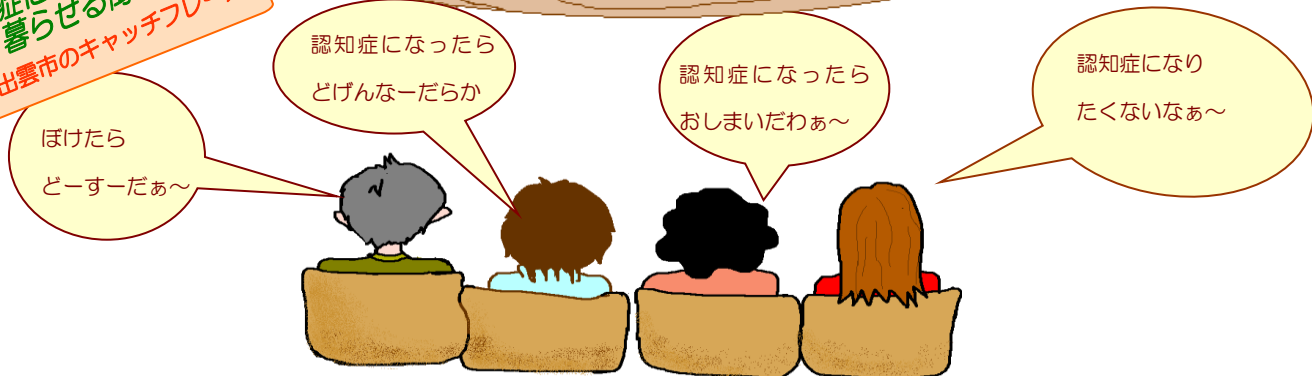


回覧

認知症になっても笑顔で暮らせる街づくり
出雲市のキャッチフレーズ

出前交流塾



『認知症』についていっしょに考えてみませんか？

長寿社会では高齢になれば誰でも認知症になる可能性があり、85歳を過ぎれば2人に1人は認知症になります。明日はわが身・わが家とも言えます。認知症予防の大切さとともに認知症を患ってどう生きるかは重要な課題になると思います。認知症になっても安心して笑顔で暮らせるためにはどうあればいいのでしょうか。

「認知症になっても笑顔で暮らせる街づくり」(出雲市のキャッチフレーズ)をめざして平成15年より交流塾を開き、平成16年秋からは地域に出かけて「出前交流塾」を始め211回が過ぎました。市民の皆様と一緒に認知症について考えていきたいと思ひます。

2020年12月から4回シリーズで阿宮地区に出かけていきます。1回の参加でもかまいません。皆様とお会いできるのを楽しみにしています。



エスポアール出雲クリニック
院長 高橋 幸男

※ 参加費は無料です
事前申し込み不要

シリーズ回数	開催期日	時間	内容	発表者
第1回	8月19日(木)	午後7:00~8:30	寸劇「認知症を病むとは」	高橋幸男
第2回	9月16日(木)	午後7:00~8:30	「認知症の人の心とかかわり」 —小山のおうちの実践から—	小山のおうち 職員
第3回	10月21日(木)	午後7:00~8:30	「認知症初期集中支援チームのかかわりについて」	初期集中 支援チーム員
第4回	11月18日(木)	午後7:00~8:30	「認知症の予防等について」	高橋幸男

◎会場 阿宮コミュニティセンター 出雲市斐川町阿宮 2323-2 TEL(0853)72-9142

主催・お問い合わせ先

認知症疾患医療センター(連携型)

エスポアール出雲クリニック

TEL0853-21-9779

共催

○阿宮コミュニティセンター

○阿宮の健康を守る会

後援

○出雲市役所 医療介護連携課